TRUSCO PRO TOOL ®

ＦＲＬユニット

品番 TACT403 シリーズ

この度は、TRUSCO FRL ユニットをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みにたった後は必ず大切に保存してください。

●安全に使うための表示

使用、保守、点検、分解の前に必ずこの取扱説明書を読み、次の表示の意味をよくご理解の上、使用してください。

表　示	表示の意味
⚠危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、重傷又は、健康上、重大な危害を被る可能性が極めて高いことを示します。
⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、重傷又は、健康上、重大な危害を被る可能性があることを示します。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負うか、健康を害するか又は、物的損害が生じる可能性があることを示します。

●形　式

ＴＡＣＴ４０３ － ８

配管口径
８：Ｒｃ１／４ １０：Ｒｃ３／８ １５：Ｒｃ１／２

●仕　様

呼び口径	８	１０	１５
管接続口径	Rc 1/4	Rc 3/8	Rc 1/2
使用流体	空　　気		
使用圧力	０．０５～１．０ＭＰａ		
設定圧力	０．１～０．８５ＭＰａ		
耐圧力	１．５ＭＰａ		
周囲温度	５～６０℃		
ろ過度	５μｍ		
貯油量	２００ｃｍ³		
最小滴下流量	30 L / min	65 L / min	80 L / min
推奨オイル	タービン油１種 ISO VG32		
製品質量	１３４５ｇ		
付属品	圧力計・ブラケット		
単品型式	TAF403、TAR403、TAL403		

＊最小滴下流量は１次側圧力が 0.5 MPa の時の流量を表しています。

●使用上の注意事項

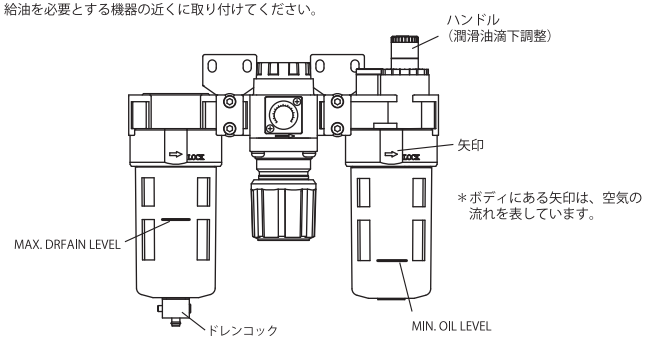
⚠警告

- 使用圧力は、1.0MPa 以下で使用してください。
- 使用温度は、５～60℃の範囲を守ってください。
- 取付場所は、直射日光や有機溶剤の雰囲気でのご使用は避けてください。
- 分解点検は、機器と配管内の圧力を抜いてから行ってください。
- 部品洗浄は、中性洗剤を使用してください。
- ２次側圧力の設定範囲は、１次側の８５％以下で行ってください。
- 故障原因の大半は空気中の異物やドレンです。上流側にエアドライヤを設置して、これらの不具合の発生を防止されることをおすすめします。
- 部品を取り外して他の機器に使用したり、指定以外の部品を使用したりしないでください。
- 人体に直接吸引する呼吸器系の装置には、使用しないでください。

●取　付

⚠注意

- 取付方向は、エアフィルタ・レギュレータ・ルブリケータの順に空気が流れるように取り付けてください。
- 取付姿勢は、地面と垂直方向とし、エアフィルターのドレンコック部が下、ルブリケータの油滴下量調節ハンドルが上になるように取り付けてください。
- 保守点検のため周囲には余裕空間を設けてください。特に油補給用のスペースは大きく取ってください。
- 給油を必要とする機器の近くに取り付けてください。



●配　管

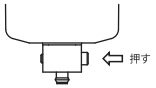
⚠注意

- 配管する前に、配管内を十分フラッシングして配管内のゴミ等を除去してください。
- 配管時には、ねじ部にシールテープ、もしくはシール剤を塗ってください。
- 配管、継手をねじ込む場合は、切粉やシール剤が内部に混入しないようにしてください。また、締め付けトルクは右記の表の範囲内としてください。

配管サイズ	締め付けトルク（Ｎ・ｍ）
Rc 1/4	12 ～ 14
Rc 3/8	22 ～ 24
Rc 1/2	28 ～ 30

●ドレン排出

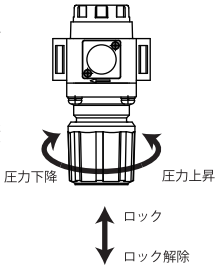
ケース内に溜まったドレンは、「MAX. DRAIN LEVEL」位置に達するまでに、ドレンバルブを操作して排出してください。「MAX. DRAIN LEVEL」以上にドレンが溜まると出口側にドレンが流出し、他の機器の作動不良の原因となります。
ドレン排出操作は、ドレンバルブのプッシュボタンの太い方を押します。また、配管内の空気圧が 0.05MPa 以下になると、ドレンバルブが開き排出される機構となっています。



●圧力調整

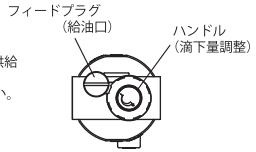
⚠注意

- **圧力設定**
  ハンドル位置をロック状態からロックを解除してから設定してください。
  ロック解除するためには、ハンドルを引き上げてください。
- **２次側圧力を上げる**
  ロック解除したハンドルを、右回転すれば圧力が上がります。圧力計を見ながら設定したい圧力付近までハンドルを右回転し、流量が落ち着いてから微調整を行ってください。設定圧力になればハンドル位置をロック状態にしてください。
  ロック状態にするためには、ハンドルを押し下げてください。
- **２次側圧力を下げる**
  ロック解除したハンドルを、左回転すれば圧力が下がります。圧力計を見ながら設定したい圧力付近までハンドルを左回転し、一旦、設定したい圧力より下げてから右回転して微調整してください。
  設定圧力になればハンドル位置をロック状態にしてください。



●潤滑油の補給

潤滑油の補給はボディ上部にあるフィードプラグから行います。
フィードプラグを取り外して補給してください。この時、エアの供給を止める必要はありません。
潤滑油はラベルに示された MIN. OIL LEVEL 以上に給油してください。
貯油量が少ないと滴下できないことがあります。



⚠警告

潤滑油は必ずタービン油１種 (ISO-VG32 相当品) を用いてください。スピンドル油やマシン油はパッキンの膨潤や樹脂部品の破損を引き起こすなど、故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
また、混合油、その他の溶剤が混入していると思われる油、廃油などはスラッジ、発錆、腐食、シール剤の変質の原因になりますので用いないでください。

●潤滑油の滴下

- 最適な量の潤滑油を滴下させてください。
- 潤滑油は空気が流れている時のみ滴下します。
- 滴下量は方向制御弁の排気から排出される空気に僅かに潤滑油が混ざっている程度の量に調整する必要があります。滴下量はハンドルを左回しにすれば増加し、右回しにすれば減少します。
- ハンドル調整後は流量が増加すれば滴下量も増加し、流量が減少すれば滴下量も減少します。

●保守点検

⚠警告

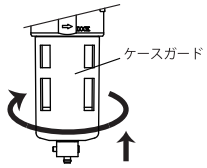
- 分解する際は、必ず配管内の圧力を抜いてから行ってください。また、ハンドルをＬ方向に緩め、調整バネをフリー状態にしてから行ってください。
- 点検項目

ピストン	：ボンネットとの摺動部の動きと、ピストンパッキンの傷み確認
バルブ	：シート部の傷み、プラグとの摺動部の動き確認
調整バネ	：錆状態、へたり、折損確認
バルブバネ	：錆状態、へたり、折損確認
リリーフバルブ	：目詰まり確認
圧力計	：指示圧力確認

- ケース組立時は、右方向へ止まるまで回転してください。途中で止めたままにしておくと、ケースが外れて危険です。

●ケース分解

ケースガードを上に押しながら、左方向へ回転させて引き抜きます。



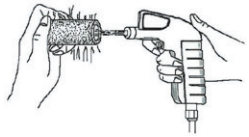
●ケース組立

ガスケットがケースに装着してあることを確認し、ケースを押しながら、右方向へ止まるまで回転させてから、下げます。

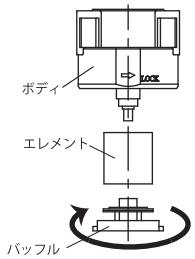
ケースガードを押し上げながら左に回す

●エレメント

エアフィルタの入口圧力と出口圧力との差が 0.07 MPa 程度になった場合は、分解してエレメントを洗浄してください。エレメントはひどい汚れでない限り、清掃・洗浄すると再使用が可能です。
空気流路は、エレメントの外側から内側に入ってろ過されるので、洗浄後内側から外側へ向けてエアブローしてください。



エレメントは、バッフルを左に回すと、取り外すことが出来ます。



2015.06

商品改良のため、予告なく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。
ご不明な点や修理ならびにお取り扱い、お手入れに関するご不明な点は、お買い上げの販売店かお客様相談室にご相談ください。
※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

開発売元 トラスコ中山株式会社　お客様相談室 0120-509-849
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号　E-mail: techno.center@trusco.co.jp
http://www.orange-book.com/